

踏み跡 <My Mountains>

奥秩父	鴨沢から雲取山往復	No.163
-----	-----------	--------

昭和46年1月31日

雲取山の雪を踏んでみようと思い立ってぶらりと出かけることが可能なのも、国立に住んでいるからからこそのこと。カメラもスケッチブックも持たず、防寒具と水と食料だけを詰め込んで・・・。

立川発7時14分の青梅線。実は今日は記念すべき日でもある。

この電車の終着駅「氷川」が、明日から「奥多摩」と改称されることになった。

「氷川」最後の日、氷川着は8時30分。日原からのルートを考えていたが、バスが満員なのであきらめて、鴨沢ルートから入ることにした。8時35分の鴨沢行に乗車。

鴨沢9時20分着。歩きなれた道を小気味よく登って行く。七ツ石小屋までの二時間をワンピッチで進んでしまった。奥多摩小屋着12時20分。ゆっくり食事をとり休憩。

雲取山13時45分、静かな頂上で周囲の景色を楽しみながらまた30分ほどの中休止をとって下山。

下りはブナ坂から七ツ石山の頂上経由のルートをとる。

七ツ石山15時05分。気分には余裕がある山歩きはいい。七ツ石神社を覗いて、七ツ石講や七ツ石権現などの靈気や歴史的な雰囲気を感じながら小袖・鴨沢への下りに入った。

鴨沢17時帰着、冬の17時はもう寒い。25分程の待ち時間でバスに乗れたのはラッキーだった。

氷川駅に着いて駅舎に入ったら、もう駅舎の中の表示が「奥多摩」に変わっていたのには驚いた。

何だか良いものがまたひとつなくなってしまう、歴史年表の一頁をまたいでしまったような複雑な気分を感じる一瞬だった。

18時16分発の電車に乗り、ヒーターの温もりを借りて立川まで一眠り。

以上

